議会だより やとみ

No.20

2011年
2月発行

二十歳の門出に―

1/9　成人式（総合社会教育センター）

平成22年12月定例会

発行●弥富市議会　　編集●議会広報編集特別委員会

〒498-8501　愛知県弥富市前ケ須町南本田335　　☎(0567)65-1111　FAX(0567)67-4011

▶金魚初市【1月12日・東海観賞魚卸売市場】

12月定例会

12月定例会を11月26日から12月20日までの会期で開きました。

市長から22年度の一般会計補正予算など21議案が、議員から意見書など2議案が提出され、原案通り可決しました。

一般質問には12人が登壇しました。

職員給与の削減

人事院勧告に基づき、職員の月給削減に加え、期末・勤勉手当を0.2カ月分引き下げ、22年度より年間3・95カ月分にするものです。

なお市長、副市長、教育長、議員の期末手当を0・15カ月引き下げ、2・95カ月に改正する議案は、全員賛成で、可決しました。

質疑

質疑（杉浦議員）

(1)　一般行政職の場合、平均で年間どれぐらい減額になるか。

(2)　21年度のラスパイレス指数【☞】はいくつか。

☞国家公務員の給与を100とした場合の地方公務員の給与水準を指数で示したもの。

(3)　職員の給料レベルの低さは大きな問題となっていたが、これからも改善していくのか。

答弁（人事秘書課長）

(1)　約8万円の減収になると想定している。

22年4月から地域手当の支給率を8％から3％に改正しており、22年度年間の影響額は約35万円の減収になると想定している。

(2)　95・5である。

主な内容

定例会の審議内容
議案質疑……2～3
一般質問（12人）…4～15
やとみフラッシュ……16

表紙の説明

成人式が1月9日、総合社会教育センターで行われ、447人が新たな門出を祝いました。

式典後は、中学時代の恩師からのビデオレターが上映され、温かい激励が新成人に送られていました。

二十歳を契機に、市政にも関心を持ってほしいと思います。

１２月定例会

答弁（市長）
(3) 今後も県内平均指数に向け、改善に努めていきたい。

討論

反対討論（杉浦議員）
今こそ官民を挙げ、給与改善により購買力を復活し、経済成長を取り戻すことが必要であり、反対する。

採決
賛成起立14人で原案可決
反対３人（三宮・安井・杉浦）

改築中の弥生保育所が移転

移転改築中の弥生保育所等の住所地を変更する条例改正を行いました【関連記事16面】。

採決
質疑・討論なく全員賛成

22年度一般会計補正予算

旧北部保育所跡地の売却益を公共施設整備基金とする４千930万円や、企業立地に対する奨励金５千379万円を含む、１億２千731万円を追加補正するものです。

採決
質疑・討論なく全員賛成

道路占用料の改正

道路上にある電柱等の利用料を引き下げるものです。

質疑

質疑（三宮議員）
影響額はどの程度か。

答弁（土木課長）
13年ぶりの改正のため、県の地価は約３割下落している。
引き下げ額は22年度予算に比べ、約680万円の減額を見込んでいる。

採決
全員賛成で可決

子宮頸（けい）がん等の任意予防接種

予防接種委託料【☞】780万円を追加補正するものです。

☞①子宮頸がん②ヒブ③小児用肺炎球菌のワクチン接種費用の一部を助成する。任意接種で、1月17日より助成を開始した。

質疑

質疑（安井議員）
(1) 助成はいつから始まるのか。
(2) 医療機関への支払い方法は。
(3) どのように周知するのか。

答弁（健康推進課長）
(1) １月中旬ぐらいから開始したい。
(2) 補助金を差し引いた額を直接医療機関に支払うよう考えている。
(3) 今考えているのはホームページと回覧である。

採決
全員賛成で可決

意見書の提出

国民と地方が安心できる社会保障制度の確立を求める意見書
国民健康保険や介護保険、年金制度に抜本的な対策を行うことなどを要望するものです。
（総理・総務・財務・厚生労働大臣、衆議院・参議院議長に提出）

環太平洋戦略的経済連携協定（ＴＰＰ）【＝関連記事６・11面・☞】への対応に関する意見書
☞米国など９カ国が参加を表明し、すべての物品の関税撤廃に向け、協議中の自由貿易協定。日本も参加を検討している。
時間をかけて検討し、国内農業の振興を損なわない対応を要望するものです。
（総理・外務・農林水産・経済産業・国家戦略担当大臣、内閣官房長官、衆議院・参議院議長に提出）

３月定例会の開催日程（予定）

期　日	日　程	放映予定
３月４日（金）	本会議（市長の施政方針）	○
14日（月）	本会議（一般質問）	○
15日（火）	本会議（一般質問）	○
16日（水）	本会議（議案質疑）	
17日（木）	厚生文教委員会	
18日（金）	建設経済委員会	
22日（火）	総務委員会	
24日（木）	本会議（委員長報告・討論・採決）	

～ケーブルテレビ中継～
午前１０時～会議終了まで（録画放映は当日午後７時～予定）

※日程は、変更になる場合もありますのでご了承ください。

佐　藤　高　清　議員

近鉄弥富駅前⇔佐古木地区の県道整備の進捗状況は

橋梁設計が23年度着手予定

問　都市計画マスタープラン等について聞く。

(1)　20年も前から計画のみ存在し、進捗しない道路は再検討が必要ではないか。

(2)　国道155号の南進【＝関連記事10面】の進捗率はどうか。

(3)　弥富名古屋線【＝関連記事15面・下図】の進捗はどうか。

(4)　近鉄弥富駅前の鯏浦川のヘド口、雑草を今後どうするのか。

(5)　盛り土条例制定の必要性を、どう認識しているか。

(6)　農業マスタープラン策定を、どう認識しているか。

答　**都市計画課長**

(1)　道路整備は長期間を要することから、情勢の変化等を考慮し、今後、国や県の指導の下、適切に見直しを行い、都市計画道路の整備を推進したい。

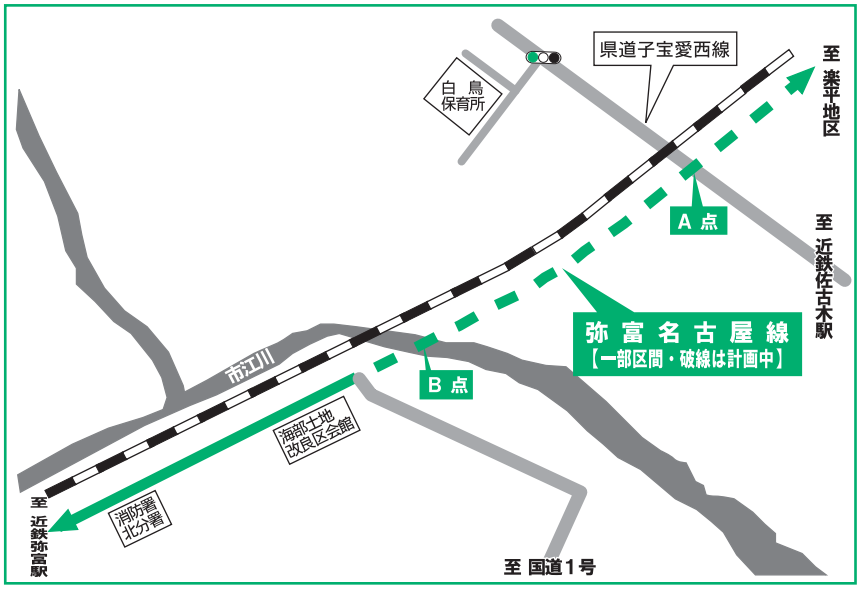
答　**土木課長**

(2)　国道1号から伊勢湾岸自動車道までの7.2㎞区間のうち、鍋田町地内の伊勢湾岸自動車道以北1㎞区間は、22年度末の供用開始を目標に(県が)事業実施をしている。

　引き続き23年度は境地内の用地測量が着手される予定となっている。

(3)　海部土地改良区会館から県道子宝愛西線（＝以下「愛西線」）の400ｍ区間は、約90％の用地買収が完了し、現在までに水路付け替え工事等が行われている。

　22年度、愛西線との交差点【Ａ点】付近は、物件補償と用地買収に着手することになっている。



　また市江川に新設される橋梁【Ｂ点】は、23年度に詳細設計に着手したいと県から聞いている。

　延伸区間の楽平地区は、圃場整備の進捗を踏まえ事業化を検討していく。

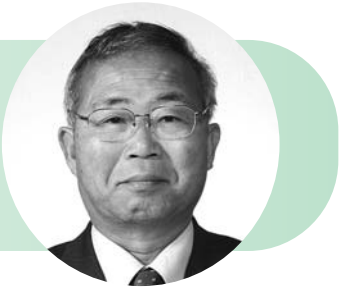
(4)　22年度、国道1号から弥富駅までの市道拡幅工事を行い、関連事業として(駅付近の)約100ｍ区間の河川の詳細設計を行った。

　引き続き中期的な計画で、鯏浦川の未整備区間600ｍの整備に着手していきたい。

答　**農政課長**

(5)　条例策定は考えていないが、農地改良届に関する指導要綱案を現在検討し、農業委員会に提案する予定である。

(6)　他計画の中で必要に応じ見直しをしているので、策定は考えていない。



三　宮　十五郎　議員

障害者手帳なしでサービスが受けられる仕組みを

問　福祉について聞く。

(1)　(税等を負担することで)生活保護の人より低収入で生活しなければならないような事態を避け、合理的な減免制度にしてほしいがどうか。

(2)　今後、保育料を改定するときに、低所得者に配慮する必要があるのではないか。

延長保育料等も、低所得者に過大な負担とならないような仕組みに検討してほしいがどうか。

(3)　税法上の障害者控除を市長が認定すれば、ほかの障害者サービスも認められる仕組みに、国や県に制度改善を求めてほしいがどうか。

(4)　かかりつけ医師に(障害者手帳取得に必要な)診断書を書いてもらえる人は、医師が忙しいため、わずかである。

(手帳の有無で)不利益を被らないようにする手立てを今後、考えてほしいがどうか。

(5)　どの市町村も国民健康保険(=以下「国保」)の運営は、国が補助金等を切り下げる中で苦慮している。

財政的な理由で(運営を)都道府県に移しても、問題は基本的に解決しない。

市町村が安心してできる仕組みを(国が)つくることが根本だと思うが、市長はどう考えるか。

手帳所持を前提に対応している

答　**副市長**

(1)　国保、介護保険は、生活保護基準以下の人が生活保護を受けずに全額免除になれば、保険料負担なしで給付のみが行われることになる。

他の被保険者に余分な負担をさせ、保険会計に影響を及ぼすので適当ではない。

しかし市民税は特定の被保険者負担がないので、前向きに検討していきたい。

答　**民生部長**

(2)　保育料は14年間据え置き財政を圧迫しており、改定を検討せざるを得ない状況が来ている。

改定時は低所得者への配慮も総合的に検討し改定したい。

答　**福祉課長**

(3)　法による福祉の措置は、手帳所持を前提として行うことになっている。

県の手当は県下すべてにかかわることで、判断基準がなければ混乱を来たすことになる。

市の支援も手帳の等級で判断していきたい。

答　**市長**

(4)　(診断書取得が困難な場合は)直接、役所窓口で相談してほしい。

市として一定の努力をしなければならないと思っている。

(5)　国保運営は市町村単位で行っており、大変厳しい状況が続いている。22年度は2億3千万円を一般会計から繰り入れし、23年度はどうするかを慎重に審議している。

これ以上、市町村負担はもう財源がない状況になって来ている。国保運営の広域化、将来のあり方は国がしっかりと審議してほしい。

渡　邊　　昶　議員

市長は2期目をどう進めていこうと考えているか

問

市長の1期目4年間の総括と、2期目に市民の負託を受けた場合【☞】の展望、見通しを聞く。

(1) 1期4年をどう感じたか。

(2) 2期目をどう進めていこうと考えているか。

☞ 市長は1月16日、無投票により再選している。

市民との協働を進めたい

答 市長

(1) わたしは、市民と協働のまちづくり、公平で透明な市政の実現、税の節約、有効利用を基本的な姿勢としてきた。

職員に対しても「市役所とは、市民に役立つ所でなければならない」と、意識改革をしてきた。

そうした中で、一定の成果を上げることができたと自負している。

(2) 21年に発表した総合計画はスタートしたばかりで、次の4年間は大変重要な時期である。行財政改革を進め、市民との協働のまちづくりをさらに進めていきたい。

しかし、財政は大変厳しい状況である。すべて行政がやるという意識を少し改めてもらい、自助、共助の精神で(市民にも)協力してほしい。

西部臨海工業地帯を中心とした企業誘致、都市計画における土地の有効利用をかんがみ、自主財源確保に努め、市民の負託に応えていきたい。

市の農業を守る独自施策は

問

環太平洋経済連携協定【＝以下「TPP」・関連記事3・11面】で一番問題が出るのは、農業と言っても過言ではない。

市の農業を守っていくには、23年度以降に市独自施策を加えるか、市長に最善の努力を期待したいがどうか。

排水賦課金の軽減を考えたい

答 市長

市の農地を守っていくため、減反の奨励に10a当たり3千円、集団転作に10aで7千円を市単独補助している。財政が厳しいときだが、この制度は23年度も継続していきたい。

また土地改良区に対する経常賦課金が、農業者の大きな負担になってきている。用水は(農家に)受益者負担を願いたいが、排水は(農家以外も排水する)生活雑排水もある。20%なり25%という中で、農家(負担)の排水賦課金【＝関連記事10面・☞】軽減を考えていきたい。

TPPの問題は厳しい状況だと思うが、国際的な潮流は理解しなければならない。農業を守る観点で注視していきたい。

☞ 市内6カ所にある排水機は、鍋田・十四山土地改良区と孫宝排水土地改良区が管理している。

その排水管理に伴う費用として、賦課金を区域農家が負担している。

炭　竈　ふく代　議員

庁舎、白鳥保育所、弥富駅の今後の整備計画は

問　市の主要施策の今後の方向性を聞く。

(1)　小中学校施設整備や修繕等の今後の取り組み

(2)　庁舎改築等検討委員会【＝以下「委員会」】で、新庁舎建設、改修等の検討が進められているが、今後の計画は。

現庁舎は耐震性が低く、築後44年が経過し老朽化等が著しい。この問題を協議する委員会で、区長会長等公職者と公募委員2人の計10人で組織している。

第1回は22年8月に開催。耐震化工事は①今後の耐用年数的に費用対効果が低い②室内補強で使い勝手が悪化―等の問題からやめ、新築すべきと方向付けされた。

第2回は12月に開催。合併推進債（＝財政状況により国の支援が受けられる借金）が活用できる28年度までの完成、床面積1万㎡を想定した上で、①移転新築は、調整区域は法改正により建設できず、市街化区域の大部分は、床面積3千㎡以下の制限があるので見送る②十四山支所改築は、人口分布上、市の中心から遠い―等の理由から、「現在地に新庁舎建設」を決定した。

(3)　白鳥保育所（＝以下「白鳥」）は老朽化が進み、保護者や地域住民から建て替えの要望を多く聞いている。いつごろの建て替えを計画しているのか【＝関連記事15面】。

(4)　JR・名鉄弥富駅の駅舎橋上化、自由通路と、同駅西側の踏切整備の今後の取り組みを聞く。

28年度までに新庁舎完成目指す

答　**教育長**

(1)　22年9月に全学校の耐震改修率が100％になった。

なお、千人を超える大規模校の桜小学校分離校として、（仮称）第二桜小学校の建設【　】も23年度から着手していく予定である。

また24年度から中学校で武道が必修になる。現在武道場のない十四山中学校は整備が必要となる。

桜小学校マンモス化対策となる新校で、25年度当初開校を目指し、旧弥富中学校跡地（＝平島町地内）に整備を予定している。

答　**市長**

(2)　委員会で、現在の場所に改築し、約1万㎡の新庁舎を建設する方向付けがされた。

財源等を解決し、合併推進債の利用期限である28年度までに、新庁舎完成に取り組みたいという考え方を持っている。

(3)　白鳥は昭和42年開所で築43年が過ぎ、老朽化も進んでいる。

建て替えは、25年度開校で準備に取り掛かる（仮称）第二桜小学校の後に、取り組む計画をしていきたい。財政状況をかんがみ、少しでも早くできるよう努力するが、一つの目安として考えてほしい。

保育所の内容は、児童館、児童クラブ等併設型の多目的施設にしていきたい。

(4)　22年度、ほぼ策定できた「弥富駅周辺基本構想」の原案に基づき、鉄道関係者、県公安委員会と協議を進めていきたい。

今後、3月議会で基本構想案を示し、23年度から専属職員を配置し取り組んでいきたい。

杉浦　敏　議員

少しの補助で地域を活性化 住宅リフォーム助成実施を

問　住宅リフォーム助成は、全国157自治体が実施している。

蒲郡市では市内業者に発注すれば工事費の1割、限度額20万円が助成され、（制度開始後）1カ月間の総助成金661万円に対し、事業費は1億587万円だった。

少ない投資でこれだけのお金が地元で動く。助成を進めてほしいがどうか。

答　**都市計画課長**

市独自では考えていない

国の具体策や予算が示されていない。今後、国、県、周辺市町の動向を見極めた上で検討したい。現在、市独自では考えていない。

バス東部ルート 一方通行改善を

問　コミュニティバス【＝関連記事15面・☜】を聞く。

22年6月から運行した公共バス。従来の市バスと比べ①運賃有料化（＝無料→大人200円）②年中運行、早朝・夜間便設定―等を導入し、路線バス色を強めた。

国の補助が得られる3年間の実証運行中で、バス業務は三重交通株式会社に委託している。

(1)　22年9月に行われたアンケート結果内容

(2)　東部ルートの一方通行を改善すべきではないか。

(3)　主要路線で総合福祉センターへ直接行けるよう、南北分断を解消すべきではないか。

(4)　廃止されたバス停を可能な限り復活すべきではないか。

左右交互運行を考えたい

答　**防災安全課長**

(1)　以下要約

■住民アンケート結果要旨（2千人中回答率49％）

①認知度88％②回答者の8％がバス利用者③利用しない理由1位「便数が少ない」④サービス程度の最多回答「運行時間、便数が悪い」⑤総合的満足度5点中3点⑥主な今後の要望「便数の増便」「ルート改正」

■企業アンケート結果要旨（調査時期22年10月・127社中回答率39％）

①80％以上が自家用車通勤②今後の利用は82％が「考えていない」、6社が「取り組む」③主な利用しない理由は「ダイヤが合わない」「バス停が遠い」「時間がかかり過ぎる」

■乗降調査（調査時期22年9～10月中の4週間）**等の要旨**

①乗車人員は7～10月の対前年比11％減②日曜・祝日利用が最も少なく、次いで月・土曜日の利用が少ない③東部ルートの利用が少ない④夜間利用者が少ない⑤利用者の多いバス停は近鉄弥富・佐古木駅、総合福祉センター、イオンタウン

(2)　利用者減少を考慮すると、左右交互の運行を考えていかなければならない。

(3)　通学・通勤の朝・夕便と、福祉バスの要素を持つ昼間便を分けて考え、総合福祉センターへの乗り入れも検討する。

(4)　アンケート結果の利用しない理由の中で「移動に時間がかかり過ぎる」との回答が上位を占めている。

特別な理由がない限り、ルート変更を伴う復活・新設は慎重に考えていきたい。

安　井　光　子　議員

国が示す少人数学級実現へ向け、要請を

問

教育について聞く。

(1) いじめ、不登校の実態はどうか。

(2) 不登校にどう対応しているのか。

(3) スクールカウンセラーへの予約が3月までいっぱいである。

県職のカウンセラーの勤務時間増加、増員を要請してほしいがどうか。

(4) 教職員の多忙な状況について、改めていくべきではないか。

(5) 23年度から国の要領により、小学校5・6年の外国語が必修化される。

専任の先生の配置などを検討してほしいがどうか。

(6) 特別支援学級に、必要に応じ複数の支援員を配置できないか。

(7) 市は通級指導教室【比較的軽度の障害等を克服するための指導を行う教室で、市は桜小に「さくらんぼ」が設置されている。教科の学習は通常の教室で行う。】が桜小学校に置かれているが、同小の子どもで満員である。増設を県に要請してほしいがどうか。

(8) 計画的に脱衣所付きの温水シャワー室を各学校に設置してほしいがどうか。

(9) 国が示す少人数学級実現のため、ぜひ市長会等へ要請してほしいがどうか。

今後、教育長会等で要請したい

答　教育課長

(1) 21年度の不登校の人数は小学校11人、中学校40人である。

21年度のいじめの認知件数は小学校5件、中学校37件だった。

(2) 21年に不登校のための学校生活適応指導支援室、通称「アクティブ」を鍋田支所2階に開設しており、複数が学校に復帰した。

(3) 県のカウンセラーは中学校3人、小学校に1人いる。小学校はまだ十分ではないため、要望は機会を捉えて行いたい。

(4) 市では独自に各小中学校に特別非常勤講師を配置し、一定ではあるが軽減に努めている。

(5) 市はALT(＝外国語指導講師)を雇用し、(国の示す)5・6年生年間35時間を既に達成している。

1～4年生も一定の時間数を確保していきたい。

(6) 状況にもよるが、予算の範囲内で複数を配置することは必要と考えている。

(7) 県内には未設置の学校が多い。

しかし現在、桜小学校で(定員)いっぱいなので、機会を捉え増設を県に要望したいと考えている。

(8) 現在、シャワー設備は弥富中学校、十四山東部・西部小学校の3校にある。

今後は財政状況も勘案し、計画的に設置していきたい。

答　教育長

(9) 教育長会等を通じ、今後強く要請していきたい。

▶通級学級を見学する議員【桜小学校】

立　松　新　治　議員

農家が負担する排水賦課金に配慮してほしい

問　農業排水路は工場等も利用し、宅地開発等で生活雑排水も増加している。（農家の）排水賦課金の負担に配慮してほしいがどうか【＝関連記事6面】。

答　**農政課長**

農家負担の軽減を図るため排水賦課金の一部を補助し、（排水機の管理を行う土地改良区の）事務事業の見直し、維持管理の効率化等を図る上で、合併が必要であると考えている。

問　市制施行5周年に対し、何か計画はあるか。

答　**市長**

伊勢湾台風に対するイベントを中心に、いろんな企画を考えていきたい。

問　全日本大学駅伝の中継地点である喫茶シャロウ前（＝国道23号沿い稲荷4丁目地内）で、地元をアピールしながら応援してはどうか。

答　**市長**

過日、（大会主催者の）朝日新聞の記者から、中継地点でのイベントの話があった。市のPRは、これから詰めていきたい。

土地改良合併を視野に軽減検討

道の駅と防災公園の総合施設を

問　道の駅、防災公園を含めた総合施設計画を提案したいがどうか。

答　**商工労政課長**

総合施設は多額の費用が掛かり、費用対効果も考えなければならず、今は考えていない。

道の駅は先進地事例等を参考に勉強する。

費用対効果上、考えていない

問　筏川右岸の防災道路計画の進捗状況を聞く。

答　**開発部長**

筏川右岸の鍋田大橋まで（＝中山町～稲元地内）は、筏地区圃場整備の計画があり、23年度以降、可能な地区から整備していきたい。

また鍋田大橋（＝稲元地内ほか）から下流（＝南側）は県の管理なので、支所、診療所、コンビニ、運動場、里山水郷公園と、この施設全体を防災施設として、地域活性化の拠点として考えてはどうか。

（上流整備と併せて）協議、調整を図っていきたい。

問　西末広の交差点より境港の（堤防）道路は、狭い上にガードレールがない所がある。車両制限も含め安全策を考えてはどうか。

答　**土木課長**

車両制限は現在、市道区間は大型車両進入禁止になっているが、鍋田町地内の名古屋第3環状線【＝関連記事4面・写真左】が22年度末に供用開始するので、地区等の意見を聞きながら関係機関と協議していく。

佐　藤　　博　議員

TPP参加協議を契機に競争力が高い農業の研究を

問　TPP【＝関連記事3・6面】と農政について聞く。

(1)　TPPの市の考えは。

(2)　(国が)TPPに参加しなかったとしても、今後、農作物等の貿易自由化は避けて通れない課題である。

　市がJAとタイアップして付加価値を高めたり、競争力が高い農業の研究を提案したいがどうか。

(3)　大規模農家に土地を貸し、有利に収入を得る仕組みを考えてはどうか。

　また土地の所有者が株主になり、スーパー等が経営する農業経営法人化モデル地区を検討してはどうか。

答　**開発部長**

(1)　農業を切り捨てない対応が必要である。

　食料安全保障の観点から慎重に対応し、現時点でTPP参加は拙速に対応すべきではないと考えている。

(2)　転作や収穫後水田の活用を通じ、一村一品運動も取り入れた集落産品の創設等が必要だと考えている。

　JA、各集落組織等が中心となり、集落ごとの農業のあり方を構築する時期に来ていると思っている。

　市も県とともに積極的に支援していきたい。

答　**市長**

(3)　市として誇れるブランドをつくり、JAとタイアップし消費を広めていく方が、理路整然とした形ができるのではないか。

　大手企業参入による法人化は、大変難しい問題だろうと思う。

集落営農を支援したい

▶平和教育として行われた戦争体験談を聞く生徒【22年11月・弥富北中学校】

教員向けの平和教育の指導は

問　中学生への平和教育について聞く。

(1)　重要性をどう考えるか。

(2)　平和教育の認識を、先生にどう指導していくのか。

(3)　生徒に平和問題のレポートを書かせ、その認識を先生が把握の上、教育に臨むことも大事ではないか。

答　**市長**

(1)　23年度から中学校2年生を対象に、広島県に平和学習派遣をしていこうという計画を持っている。

　平和と人権尊重を勉強することは大変重要である。

　子どもたちが相互の人間関係を深め、互いが協力し、よりよい集団生活をしようとする態度を身に付けてほしいことが一番骨子にある。

答　**教育長**

(2)　現在、市内中学校の校務主任等を中心に、平和教育を推進する検討委員会を設置している。

　より成果の上がる平和教育になるような研修等も含め、検討していきたい。

(3)　できる限り早い時期にレポートかアンケート調査を実施していきたい。

23年度派遣に備え教員組織設置

山　本　芳　照　議員

公共下水道事業の進捗状況と接続率を聞く

問　総合計画に基づく各種事業の進捗状況を聞く。

(1)　市は、自主防災組織の結成を呼び掛けている。まだ結成されていない地区があると聞くがどうか。

(2)　運転免許証の返納者に、コミュニティバスの無料乗車券を発行してはどうか。

(3)　公共下水道の進捗状況と、接続率は何％か。

(4)　救急医療体制の充実をどう考えているか。

(5)　救急車を呼んでも、海南病院が混んでいるとほかの病院に回されると聞いた。市の考えはどうか。

(6)　国の重要文化財である服部家住宅の維持管理について、どう考えているか。

(7)　白鳥学区防災広場の建設を、いつごろまでに目指しているのか。

◀既に共用を開始した平島地区の下水道工事

22年度20％接続を目標に努力

答　**防災安全課長**

(1)　現在43地区、全体で59％の結成率である。

今後も補助制度を説明し、各地区に結成の呼び掛けを続けていく。

(2)　料金に係ることなので、国の認可が必要になる。

行うという段階になれば、地域公共交通活性化協議会で検討する。

答　**下水道課長**

(3)　平島地区のほぼ全域、鎌島・操出・三稲・稲狐地区の一部を22年3月に供用開始した。

目標は22年度（接続率）20％で、達成するよう努力している。

今後の整備は、22年度より前ケ須地区の整備を行っている。年間約20haを整備し、毎年供用開始を図っていく計画である。

答　**健康推進課長**

(4)　基幹病院での軽症者受診を軽減することが重要である。

また海南病院では医師が救急車に同乗するドクターカーの試行運転が行われ、救命救急センターの整備計画もある。この計画に財政支援【　】を行い、市民の安心・安全に努めている。

海南病院改築に伴い、愛西、蟹江、木曽岬、飛島の近隣市町村とともに15年間で約19億円の支援を行い、市はそのうち約8億円を負担する。

改築費は約114億円。29年度までに入院・診療棟の一部改築、救急医療体制の充実等が計画されている。

(5)　かかりつけだったり家族の申し出があれば、救急隊は最優先で海南病院と連絡を取るが、受け入れ体制が整わないなど場合によっては別の病院へ搬送される。

同病院は、時間を争う循環器疾患、周産期の母子は100％受け入れると聞いている。

答　**社会教育課長**

(6)　毎年、維持管理費用として補助金60万円を計上している。

さらに（加えて）県補助金があるので、それも活用して維持管理に努めている。

答　**総務部長**

(7)　用地はＪＲと近鉄の間で候補地を絞り込んでいる段階である。

整備は24年度以降になる見込みで、鋭意努力する。

山　口　敏　子　議員

デイサービスの外出を増やし、リハビリ効果向上を

問

夫が利用していたデイサービスセンター（＝以下「施設」）は、外出が売りだった。

朝、施設に行くと入浴、昼食を済ませ、午後は交通費が安価で時間内に車いすで行ける所へ施設のバスで行き、楽しそうに半日を過ごしていた。

この施設は17年度末の県の監査で、室内訓練を中心にやりなさいという内容の指導を受けたそうである。

バスの乗り降りや外の空気に触れ、社会とつながりを持つことは、脳の刺激になり、生きる喜びのリハビリになると、看護師や施設長が力説していた。

夫が亡くなる直前まで楽しそうに話していたことを、私も喜びに思っていた。

施設では現在、何とかやりくりして月2回ほど出掛けており、せめて4回ぐらいにできたらと施設長は言っている。

市ではこのような指導をしているか。

希望施設を選択してほしい

答 介護高齢課長

外出等の件数を（減らすことを）市は指導しておらず、介護保険制度の中でそれぞれの通所施設は運営している。

現在市内に9カ所の施設があるので、散歩、外出等も含め、一番本人の希望に沿う事業所でサービス提供を受けてもらえればと考えている。

他市事例を参考に資料館充実を

問

北名古屋市歴史民俗資料館【✎】は、回想法の拠点としてすばらしい設備内容を持っている。

回想法はアメリカの精神科医が提唱し、高齢者が回想に浸ることで生きがいや自分を取り戻すことにつながるとした心理療法である。

市歴史民俗資料館（＝以下「資料館」）も、市の特色を備えた資料館に生まれ変わり、観光の目玉、弥富の宝箱にしたらと思うが、どのようにこの資料館をしていくのか。

✎ 北名古屋市が運営し、昭和に関する展示が充実している。また「お出かけ回想法」と題し、認知症ケア等を目的に、デイサービス見学を勧める高齢者事業を実践している。

庁舎改築時には並行し考えたい

答 市長

資料館の今までの生い立ち等も考えていかなければならないが、大変手狭になっていることも事実である。

近い将来、例えば庁舎改築等を行った場合においては、並行的に考えていきたい。

そしてさまざまな市の資料を市民が考え触れられる、参加型の資料館にしていければと思っている。

堀　岡　敏　喜　議員

いじめ対策等のため、学校運営協議会の設置を

問

教育について聞く。

(1)　非常勤の教育委員が、月1回の定例会ですべての権限と責任を担うには当然無理もある。

そこで、教育政策の大綱設定や事務局の仕事の監督等に限定し、具体的な執行は教育長、事務局に任せ、役割分担を明確にすることが必要と考えるがどうか。

(2)　個人で解決できない児童虐待やいじめなど、地域コミュニティーの強化でより早く発見、解決できると考える。

そのための学校運営協議会【＝以下「協議会」・　】を提案するがどうか。

保護者や地域住民などで構成する合議制の組織。学校の基本方針への承認や教員人事等に意見が述べられるなど、一定の権限を有して学校運営に参画する。

別名コミュニティースクールと言い、各自治体教育委員会が任意で設置する。

評議員制度を提案していきたい

答　教育部長

(1)　法の趣旨、規定に従い適切に執行、運用していきたい。事務分担は明確にされていると考えている。

(2)　県内設置状況は22年4月現在で小学校2.2％、中学校2％で、市も設置していない。

協議会制度より、まず学校評議員制度【　】の導入について教育委員会等に提案していきたい。

地域参画を主眼とする協議会に類似する組織。評議員に校長の推薦を得た者が就任し、校長の諮問機関としての意味合いが強い。

21年度の県内設置率は小学校91・4％、中学校86・8％。協議会同様、任意設置の組織。

ウサギとふれあう会【22年10月・桜小学校】

低学年児に動物触れ合い授業を

問

動物飼育介在教育について聞く。

(1)　県獣医師会の活動に、動物触れ合い事業がある。

これは1、2年生を対象にウサギ等の小動物との触れ合いを通じ、命の大切さ、他人を思いやる心を学ぶものである。

桜小学校で行われた授業に教育長、教育部長が参加したが、感想を聞く。

(2)　市内小学校の飼育小屋は、飼育を通じ教育に生かせているか。どんな見解をしているか。

(3)　動物触れ合い授業を、(他校の)対象の子どもたちに受けさせたいと思う。

市として前向きに検討すべきではないか。

獣医師の協力があれば進めたい

答　教育部長

(1)　子どもたちの表情、取り組みがよく、全体的にとても有意義だったと思う。

しかし、動物アレルギーに配慮する必要があると思った。

(2)　動物と触れ合うことは、教育的に非常に効果が高いと思っている。

(3)　県獣医師会から協力を得られるならば、行われていない学校へ話をし、進めていきたい。

三　浦　義　美　議員

コミュニティバスの利用料は高いのではないか

問

コミュニティバス【＝関連記事8面】について聞く。

(1)　利用料金が高いという意見があるがどうか。

(2)　復路に時間がかかったり、バス停がないなど、地域格差があると聞いている。運行経路を見直すべきではないか。

(3)　今のバスは大きく、ほとんど空気を運んでいる。大型から小型に変える予定はあるか。

(4)　今までの福祉バスは、ただで総合福祉センターまで行けた。往復料金100円を提案するがどうか。

料金変更は考えていない

答　**防災安全課長**

(1)　原則として大人200円の変更は考えていない。

回数券は12枚2千円で1乗車167円である。今後は定期券等の発行も検討していきたい。

(2)　東部ルートは右回り、左回りを検討していく。

(バスが)停車しない所は確かにあるが、利用しない理由に「到着時間が長い」ということもある。

朝便と昼便との性格を分けることなどを考えて対処していきたい。

(3)　現在、中型が2台、マイクロは予備車を含め4台運行している。

将来のバスの更新時期には小型化も当然検討すべきと思っている。

直進が計画されている弥富名古屋線
(海部土地改良区会館前)

弥富名古屋線の整備促進を

答　**総務部長**

(4)　今のバスがだめだと、過去の(無料の)福祉バスに戻すという意見が多数あれば、3年間の実証運行の中でまた議論になると思う。

関係機関に要望していきたい

問

白鳥学区のことについて聞く。

(1)　県道弥富名古屋線【＝関連記事4面】は、(計画から)30年たってもできていない。早く(整備)してほしいがどうか。

(2)　(老朽化した)白鳥保育所【＝関連記事7面】を、安心して通える保育所に早くしてほしいがどうか。

答　**市長**

(1)　今後も(事業主体の県などの)関係機関に対し、(整備促進を)力強く要望していきたい。

(2)　白鳥保育所は老朽化も進んでおり、(仮称)第二桜小学校の後になるかもしれないが、なるべく早くできるか考えながら、開所に向け総合的な保育所づくりに励んでいきたい。

カメラスケッチ

やとみフラッシュ!

弥生保育所が新園舎に

老朽化により旧敷地西隣に整備中の弥生保育所の新園舎が一部完成し、12月13日に移転、利用が始まりました。

建築工事費約5億5千万円、延べ床面積約2,800㎡の2階建て。引き続き園庭整備等が行われ、複合施設として整備中の児童館、児童クラブは3月下旬、子育て支援センターは4月下旬から利用開始予定です。

ゼロ火災へ決意新た

消防団出初式が1月9日、文化広場で開催され、16分団約370人が式に臨みました。

会場では団員たちが有事に備え、一斉放水訓練や部隊訓練に取り組み、無火災を願って決意を新たにしていました。

男料理に挑戦

男性料理教室が1月26日、保健センターで行われました。手づくりでヘルシーな食事を心掛けてもらおうと、市ヘルスメイト協議会が企画。

参加した男性12人は女性スタッフの協力を得ながら、鶏肉のトマト煮や味噌汁などを一生懸命つくっていました。

PRINTED WITH SOY INK
地球に優しい大豆油を使用したインキで印刷されています。